

毛呂山町立小・中学校編成計画

【 取組状況 】

【めざす子ども像】

夢をもち 世界にはばたく 毛呂山の子ども

今年度も小中一貫校開校に向けて、「学びのつながり」「人と人とのつながり」を重視した取組を推進しています。

第1回小中一貫教育合同研修会

毛呂山中学校区(毛呂山小学校) 6月26日(金)

＜公開授業＞



ゲストティーチャーの活用（栄養教諭・手話サークル）



6年 算数
(担任と学力向上支援員による)

＜分科会＞

公開授業について、視点に沿って、協議を深めるとともに、小中学校9年間を見通した各教科の指導について、検討しました。

川角中学校区(光山小学校) 6月30日(火)

＜公開授業＞



ゲストティーチャーの活用（歴史民俗資料館・城西大学教授【外国語活動】）

＜専門部会＞

小中一貫校開校に向けた取組について、昨年度までの確認と今年度の課題について協議しました。

次回

第2回小中一貫教育 合同研修会開催について

11月13日(金)

【毛中区】泉野小学校

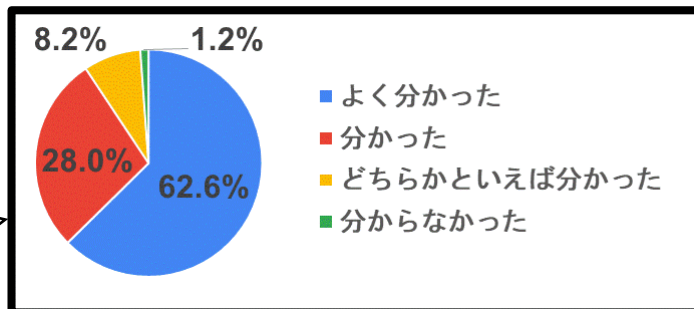
【川中区】川角小学校

第1回小中一貫教育合同研修会 アンケート結果より

<児童>

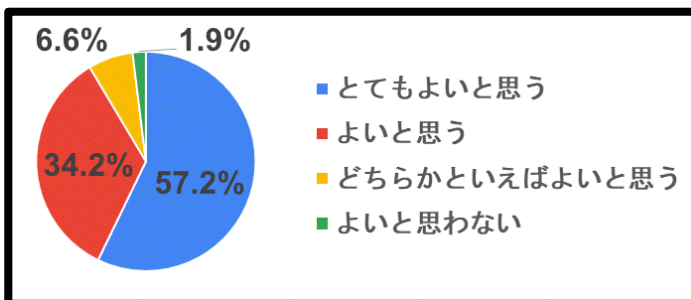
1 今日の学習内容は分かりましたか。

90.6%の児童が「わかった」と答えています。



2 今日のような授業や活動をこれからも行います。

(1) このことについてどう思いますか。



91.4%の児童が「よい」と答えています。

(2) 理由

- ・このような活動は、とても良いと思います。理由は、他の学校の先生や、ゲストティーチャーの人と、学習することは貴重な経験だと思うからです。
- ・地域の人と交流ができるからいいと思う。
- ・いろいろな人と学習すると、ワクワクしたり、友だちが増えるからです。
- ・緊張しちゃうけど頑張れる。

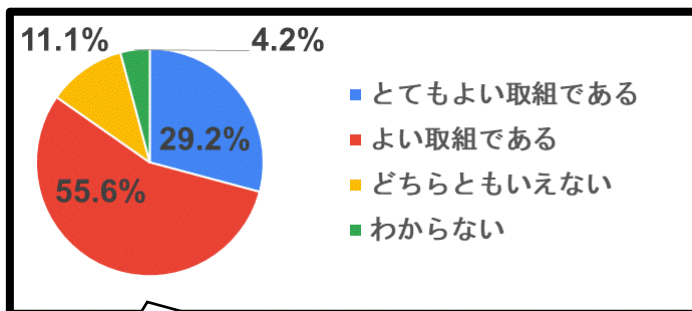
<教職員>

1 合同研修会の感想

- ・小学校でどのように授業を行っているかを知ることができ、小中一貫教育の連携も図ることができとても良かったです。
- ・担任として持っている学年の他の学校の授業を見ることができ、とても勉強になりました。掲示物や規律面、発表の仕方、授業の仕方等、学ぶ事が多くありました。学び合いもよくできていました。
- ・今回の研修では、子どもたちが安心して主体的に学べる授業づくりについて、多くの実践を学ぶことができた。

2 現在、小中一貫校開校に向け、学びのつながりや人と人とのつながりを大切に、小中教員の合同授業、乗り入れ授業、ゲストティーチャーを招いた授業、小中（小小）の児童生徒の交流等の取組をしています。

(1) この取組についてどう思いますか。



84.8%の教職員が「よい取組」と答えています。

(2) 理由

- ・今の課題を伝え合うことで、小中の連携が取れるので良い取り組みだと感じた。
- ・先生同士が顔見知りになってきて、同じ学区の一体感が出てきた。
- ・乗り入れ授業やゲストティーチャーの授業の学びを小中で定期的・継続的に行うことで、日常の学びからさらに広がった学びを得る力が育つと思うからです。
- ・児童にとって抵抗感なく、中学校にすむことができる。

人と人のつながり

今年度も小学生と中学生、小学生どうし、地域住民等の交流を通して学びを深めています。児童生徒も9年間のつながりを意識したり、地域を大切に作る心がはぐくまれたりしています。

小学生と中学生の交流・合同行事

＜小中一貫陸上教室＞ 6月11日（木）泉野小 12日（金）毛呂山小

毎年度実施している、毛呂山中学校陸上部生徒による陸上教室です。小学生の時に、中学生に教えてもらう立場だった生徒が、中学生になりました。小学生によくわかるようにていねいに運動のコツを教えている姿がみられました。

★参加した児童生徒の感想



【小学生】

- ・ハードル走では、上に飛ぶと思っていたけれど、前に飛ぶことが大切と知った。これからの体育で活かしていきたい。
- ・ボールの飛距離が伸びた。
- ・詳しく説明してくれて、できるようになった。
- ・私が中学生になっても陸上部に入ったら今日教えてもらったようにうまく教えられようになりたい。

【中学生】

- ・最初はみんな苦戦していたけど、1つ1つアドバイスやポイントを教えると呑み込みが早く、すぐに上達していく姿を見てやったかいがあったと喜びを感じた。
- ・今まで自分たちが教えられていたけど、初めて教えたので、来年こそは上手に積極的に教えたい。

＜小中合同引き渡し訓練＞ 6月24日（水）川角中・川角小・光山小

昨年度から実施している合同引き渡し訓練です。

災害の発生等により、児童生徒を保護者に引き渡す場合を想定して、小中合同の訓練を行いました。



小学生どうしの交流

＜田植え体験＞ 6月11日（木） 毛呂山小・泉野小／川角小・光山小

今年度も地域の方の御指導を受けながら、毛呂山小・泉野小、川角小・光山小の5年生が合同で田植えを行いました。秋には、稲刈り体験も合同で実施予定です。

地域住民や外部人材等との交流

地域の方に、小学1年生の給食配膳のお手伝いや、学習補助などに御協力いただき、教育活動をサポートしていただいています。

第1回学校運営協議会

令和8年5月13日（水） 毛呂山町役場

議題：各学校の学校運営基本方針 → 全小中学校 **承認**

毛呂山町では、毛呂山中学区および川角中学校区をコミュニティ・スクールに指定しています。

コミュニティ・スクールは、教育委員会から任命された保護者や地域の方々（学校運営協議会委員／各中学校区12名）が、学校の運営方針を承認したり、学校を支援する活動のため学校と地域とをつなぐパートナーとなったりする「学校と地域を結ぶ仕組み」のことです。

毛呂山中学校区学校運営協議会（委員の声）



- ・学校経営方針に目標達成基準が示されており、教育活動していく上で、現状はこうなので、ここまで高めて行こうという形になるのでよい。
- ・不登校問題への対応について、魅力ある学校にするために新たな取り組みを考えているのか。
- ・いじめの問題への対応で、外部の人を呼んでのスマホやタブレットの扱い方の研修があるのか。
- ・グランドデザインの豊かな心の育成というところで、意識を高めていただいている。すごく大事な部分なので、ぜひこのままの意識を強化していただきたい。
- ・学校自体に活気がある。授業参観に行くと、子供たちのいいところを見つけようという先生の姿勢が見て取れて、子供たちも喜んでもっと手をあげようという姿があり、感心している。
- ・今後、泉野小と毛呂小で合併するということで、小小連携を強化するってということが挙げられている。現在、PTAの方と、統廃合に向けて話をするような場があるので、参考にしたい。
- ・統合について。子供たちも期待と不安と両方をもっていると思うので、校長先生方にぜひ丁寧に汲み取っていただきながら、子供たちが期待をもって、統合に向かえるようお願いしたい。

川角中学校区学校運営協議会（委員の声）



- ・校長が力を入れている安全な登下校、朝の挨拶がずいぶん変わってきた。
- ・登校班で誰が班長かわからない。朝、各地区に集合する時点で、班長が挨拶しているのか。そのあたりを整えると、朝の活力上がるのではないかな。学校だけの問題ではない。PTAとも協力して、地区の力、民生児童委員の力を借りるなどすると地域作りにも繋がる。
- ・部活動がなくなる部もあると聞いたが、実際はどうか。
- ・自転車の乗り方についての教育にずいぶん力を入れないといけない面がある。
- ・PTAの行事で少し人手が欲しいということであれば、地域の団体がPTA活動に入っていくというのがこれから大事なのかなと感じた。
- ・水泳指導委託について。今後の見通しはどうか。
- ・地域の人にもっと来てほしい来てほしいと言っただけなのが、理由がないとなかなか行けないという感じがあるので、どうやったら地域の行きたい人たちが足を運べるか、こういう場を借りて相談ができればよいと思う。

★第2回（7月1日・8日）については、後日お伝えいたします。